

令和2年度 五所川原市在宅医療介護連携推進実務者会議実施結果

日 時	実務者会議	実施報告
令和2年4月～8月	COVID-19 感染症拡大の影響で会議見合わせ	
9月	<p>9月29日(火) 13:00～14:00 実務者会議1回目</p> <p>市役所会議室 2B/2C/2D</p> <p>1. 「巡回型感染症防止の健康教育」実施報告</p> <p>2. 「医療と介護を支える専門職種の紹介」リーフレット、緩和ケアマップ(五所川原版)のご報告と今後の周知計画</p> <p>3. コロナ禍における多職種連携と研修について</p> <p>4. 情報提供「国の在宅医療介護連携推進事業見直しについて」</p>	<p>9月29日(火) 13:00～14:00</p> <p>出席者20名、オンライン1名 事務局5名 <u>計26名</u></p> <p>左記について説明と報告を実施した。</p> <p>また、在宅医療介護連携推進事業の手引きが改定されるため、要点を説明した。</p>
10月	<p>10月21日(水) 13:00～14:00 実務者会議2回目</p> <p>市役所会議室 2B/2C/2D ★オンライン併用</p> <p>○第8期介護保険事業計画</p> <p>在宅医療介護連携推進事業の計画案について</p>	<p>10月21日(水) ⇒COVID-19 感染症拡大のため、書面協議とした</p> <p>20名の委員より回答が得られた。</p> <p>1. めざす姿について</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療介護について、市民への周知が必要 引き続き、関係職種間の話し合いと連携を継続することが大切 <p>2. 第8期介護保険事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT構築について 認知症ケアパスの周知と活用方法について要検討 <p>3. 対策の検討と実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「平成31年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」から見た医療・介護の課題分析と考察 在宅介護実態調査(令和2年7月実施)からみた課題分析と考察をし、第8期介護保険事業計画(案)を見直した。
11月	<p>11月27日(金) 13:00～14:00 実務者会議3回目</p> <p>五所川原市学習情報センター★オンライン併用</p> <p>○第8期介護保険事業計画</p> <p>在宅医療介護連携推進事業の計画案について</p>	<p>11月27日(金) 13:00～14:00</p> <ul style="list-style-type: none"> 書面協議内容の説明 第8期介護保険事業計画「在宅医療介護連携推進事業の計画案について」説明 医療職と福祉職の連携を深めるため「多職種研修会」を企画している旨の説明をおこなった。
2月	<p>2月26日(金) 13:00～14:00 実務者会議4回目</p> <p>市役所会議室 2B/2C★オンライン併用</p> <p>○令和3年度の事業計画案について</p>	<p>2月26日(金) 13:00～14:00</p> <p>8名の委員出席 Zoom参加7名 事務局4名 計19名</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 在宅医療介護連携推進事業の取組み事業と進捗状況の報告 令和3年度 在宅医療介護連携推進事業実施計画(案)の説明 多職種研修会第1回目の報告と第2回目の説明 <p>岡崎委員(HC):入院調整ルールのモニタリングは終了する</p> <p>北川委員(ヘルパー):つながるシートまだ完全普及になっていない。ヘルパーは躊躇する。</p> <p>小野委員(栄養士):在宅とのつながりを模索中</p> <p>窪田委員(訪問看護):「つながるシート」を見たこともない</p> <p>原田委員(看護師):「ACP」の研修会なり、地域の方へ周知していく必要がある</p> <p>木下委員(かなぎHP):「つながるシート」書くものが多すぎ、褥瘡認定看護師の活用もどうか</p> <p>小林委員(歯科):口腔機能低下は全身に影響を及ぼす。個人レベルからさらに進めていくことが大切。</p> <p>津川委員(医科):「ACP」について、認知症フォーラムのような寸劇等で市民に伝えるのはどうか。</p> <p>三橋委員(OT)</p> <p>高松委員(つ総)</p> <p>木村委員(ケアマネ):つながるシートと入院調整ルールが結果的に1つになればいい。ケアマネとして何ができるか考えている。</p> <p>寺内委員(デイサービス):国の示す在宅医療介護連携は現状と目標が乖離している。医療とのつながりで成功事例などを報告して欲しい。</p> <p>長内委員(有料老人ホーム):最期は有料か自宅か。家に帰る不安、相談できる関係性を築くことが大切</p> <p>木谷委員(特養):具体的にどうやってやっていけるか、みんなとやっていくか、市町村単位で考える</p> <p>中谷委員(グループホーム):使い勝手のよい入院調整ルールにして欲しい</p> <p>等の感想や意見があった。</p> <p>次年度(令和3年度)は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 多職種研修会を引き続き継続する。パネリストとして、医師、OT、ケアマネ、ヘルパー、訪問看護師、言語聴覚士、歯科衛生士等を検討していく。 ICT構築に向けて検討していく。 ACPについて、計画を立て、学童期等早い段階から考える機会が持てるようにする。 <p>以上</p>